

ディプロマポリシー

国際医療専門学校（3年課程）の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、所定の単位を修得してものに卒業を認定し、専門士（医療専門課程）を授与する。

●看護学科

- I. 生命（命・いのち）を大切にできる能力
 1. 生命を命といのちの両面から捉えることができる。
 2. 人間を掛け替えのない尊い存在として認識できる。
 3. あらゆる人の生命に寄り添い、その暮らしの中でその人らしく生きる事を支援することができる。
 4. 人々の多様な価値観を受け入れて、尊重できる。
- II. 対象を全面的に理解し、科学的な根拠に基づき、安全・安楽・自立に導く看護を実践できる能力
 1. 科学的根拠に基づいた看護基本技術を修得し実施できる能力
 2. 基礎的知識や経験をもとに思慮深く考え、状況判断することができる。
- III. 社会における看護の役割を認識し、保健医療福祉チームの一員として機能できる能力
 1. 多様な人々と連携・協働し、保健医療福祉チームの一員として機能できる能力
 2. 保健医療福祉チームの一員として、看護師の調整的な役割を認識することができる。
 3. 連携・協働に必要なコミュニケーション力・調整力を身につけることができる。
- IV. 看護者として、倫理観に基づく行動がとれる能力
 1. 自己を振り返り、看護観を問い続けることができる。
 2. 誠実で倫理観に基づいた行動をとることができる。
- V. 自己研鑽し働き続けられる能力
 1. 自ら学ぶ姿勢や向上心を忘れず、常に自己成長に努めることができる。
 2. 社会の動向を意識し、専門職業人として主体的に学習する姿勢ももつことができる。

●臨床検査学科

- I 人の生命（命・いのち）を大切に考え、高い倫理観に基づき行動することができる。
- II 変化する国際社会や進歩する情報化社会に対応することができる。
- III 臨床検査の役割を踏まえ、被検者の保健医療福祉を支えることができる。
- IV 検体採取、測定、検査説明を行い、質の高い臨床検査を提供することができる。
- V 多様な被検者と良好な人間関係を構築しながら臨床検査を実施し、他職種と連携することができる。
- VI さまざまな課題を解決するために、臨床検査に関わる知識や技術を修得し、研鑽することができる。